RI 第 2620 地区　静岡第 2 グループ

沼津西ロータリークラブ

2025～2026 年度・クラブテーマ

「手を取り合い行動しよう」

会　長　杉山　真一　/　幹　事　冨岡　由樹

第 1550 回　第 35 巻 09 号 2025 年 9 月 11 日

■■ 本日のプログラム ■■

米山奨学生卓話　代　煜超(ダイ　ユウチョブ）様　理事会④

■9 月のプログラム■	
1551 回 12:30 09 月 18 日(木)	イニシエーションスピーチ　山本啓子君 ｱｸｱｶﾞｰﾃﾞﾝ迎賓館
09 月 25 日(木)	祝日週休会
■10 月のプログラム■	
1552 回 12:30 10 月 02 日(木)	長浜城跡について沼津市文化財センター 主任学芸員 木村　聡 様 ｱｸｱｶﾞｰﾃﾞﾝ迎賓館
1553 回 12:30 09 月 11 日(木)	サッカー大会報告 奉仕プロジェクト委員 35 周年記念例会・記念事業経過報告 理事会⑤　ｱｸｱｶﾞｰﾃﾞﾝ迎賓館
10 月 16 日(木)	裁量休会②
1554 回 18:00 10 月 22 日(水)	沼津 4 クラブ合同例会　ホスト沼津柿田川 RC 沼津ﾘﾊﾞｰｻｲﾄﾞﾎﾃﾙ
1555 回 12:30 10 月 30 日(木)	公証人制度について　公証人 名倉俊一 様 ｱｸｱｶﾞｰﾃﾞﾝ迎賓館

例 会 場　〒410-0046　沼津市米山町 3-37
アクアガーデン迎賓館沼津
TEL 055-920-5200

事 務 局　久松会計事務所内
TEL 055-961-2050　FAX 055-961-2600
E-mail：numawestrc@gmail.com

例 会 日　毎週木曜日 12：30 点鐘

公共イメージ向上委員長 山本宜司 / 編集者 小野　洋子

出席報告　会員数 21 名			
例　会	会員数	出席数	出席率
1550 回	21 名	16 名	76.19%

会長挨拶　　● 会長 杉山真一 ●

本日は、米山梅吉記念館での移動例会です。米山奨学会の方々を含むその他多数のビジターの皆様が出席されております。

現在の国際ロータリーで定められている月間とは異なり、その前に定められた旧の月間が 10 月の米山月間に合わせ、米山奨学生の卓話を聞くことが恒例になっており米山奨学生に卓話を依頼したのは、1994 年 10 月の例会が初めてのようです。その後、米山月間にあわせ奨学生の卓話は行われるようになりましたが、毎年定期的に実施されるようになったのは、2001 年からで、 実に 20 年以上続いております。

本日は、このように当クラブとの関わりの深い米山梅吉記念館についてお話ししたいと思います。今回は、ロータリーの資料からではなく、三井信託銀行の三井広報委員会というホームページから得た情報で普段ロータリーの使用とは少し違った紹介をさせて頂きたいと思います。

三井のスポットとして紹介されている米山記念館は、三井の重鎮・日本ロータリーの祖　米山梅吉の偉業を知ると記載されており三井銀行常務取締役や三井信託初代社長として活躍したほか、日本初のロータリークラブ「東京ロータリークラブ」を設立した「奉仕の人」米山梅吉。全国から愛された米山梅吉　故郷・長泉町に建つ記念館「公益財団法人 米山梅吉記念館」は昭和 44 年（1969）3 月、財団法人として静岡県長泉町に設立され、同年 9 月に記念館（旧館）を建設。長泉町は、米山が幼少期を過ごした土地であり、建設にあたっては全国のロータリークラブ、個人からの募金、三井信託銀行、三井銀行本店、三井信託銀行の OB 会などからも寄附が寄せられた。第一から第三まである展示室はそれぞれ、米山の生い立ち、遺品、ロータリークラブの歴史の構成。特に第一展示室では、米山の銀行家としての活躍や、報恩会の事業の様子など、公私共に携わった活動を知ることができる。また 1 階ホールには、三井信託社長時代に実際に使用していた執務机と椅子も展示。年間約 4000 名の来館者が訪れている。

旧館は現在「米山文庫こども図書館」として活用され、地域の交流の場となっている。これは、平成 22 年（2010）4 月 29 日に、長泉ロータリークラブ、米山記念館、長泉町の 3 者により実現したもので、昭和 6 年（1931）に米山が長泉小学校に図書館及び蔵書約 1000 冊を寄贈した「米山文庫」が元となっている。展示を通してわか

るのは、米山が常に社会奉仕に情熱を傾ける人物であったということだ。三井銀行常務取締役時代、訪米の折にロータリークラブの存在を知り、奉仕という理念にあらためて共鳴。大正 9 年（1920）に日本初の東京ロータリークラブを発足させ、初代会長に。46 歳で「新隠居論」を著し、事業が成功し名を遂げたら後進に道を譲って社会奉仕に貢献すべしと説いた。言葉通りに三井報恩会理事長に就くと、同年に三井信託社長、三井銀行取締役を辞任している。

以上、本日の会長挨拶とさせていただきたいと思います。

●ゲスト

1.米山記念奨学委員会　委員長 飯島崇宏君：伊東西 RC

2.米山奨学生　代　煜超(ダイ ユウチョウ）君：せせらぎ三島 RC

3.世話クラブカウンセラー　仲原実圭君：せせらぎ三島 RC

●ビジター

1.原　兄多君：せせらぎ三島 RC

2.原　国太郎君：せせらぎ三島 RC

3.大川　泰君：せせらぎ三島 RC

4.芹澤宏昌君：せせらぎ三島 RC

●他クラブへの出席者

頴川ゆう子、久松　但、小野洋子、植松　正、渡邉勝也

●他クラブへの出席者

杉山真一、冨岡由樹(9/5 会長幹事会、9/7DEI 推進セミナー)

鈴木和憲(9/6　米山梅吉記念館)

山本宜司(9/7　北海道 2500 ロータリークラブ E クラブ)

●スマイル報告

1.杉山真一、2.本村文一：本日は、代 煜超(ダイ ユウチョウ）さん、卓話をお願いします。

3.羽切勝利：先週、欠席してすみませんでした。

幹　事　報　告

1.他クラブの例会変更等

①沼津 RC　 9/26(金)　休会　MU:無

②富士宮西 RC　9/19(金)　祝日週休会　MU:無

③沼津北 RC 9/16(火)　祝日週休会 MU:11:30-12:30(沼津リバーサイドホテル)

9/23(火)　祝日休会 MU:無

④沼津柿田川 RC 9/17(水)　祝日週休会 MU:無

2.報告・連絡事項

①本日は例会後、理事会がありますので理事の方は出席をお願いいたします。

②9/27(土)のサッカー大会の出欠席をご記入ください

③10/22(水)　沼津 4 ロータリークラブ合同例会の出欠席をご記入ください。

理事会報告

1.　報告事項

①9/3(水)　第 29 回沼津市社会福祉大会にて、沼津市社会福祉協議会様より沼津 4RC が社会福祉協力者として福祉感謝状をいただきました。本状は沼津 RC にて保管。

②9/5(金)　第 4 回 2025～26 年度会長幹事会に杉山会長と冨岡幹事で出席しました。

2. 協議事項

①10 月度例会プログラムの件　クラブ管理運営委員 山田和典君

→10 月 9 日例会について、サッカー大会報告と合わせて 35 周年記念例会・記念事業に関する経過報告を追加の上、別紙のとおり承認とする。

②9/27(土)　2025 年度沼津西ロータリークラブカップ U-8 サッカー大会予算・スケジュールの件

→別紙のとおり承認する。

③『ロータリー塾』参加の件　別紙参照　杉山会長

→今年度は不参加とする。

④地区大会登録料等の件　別紙参照　杉山会長

→承認とする。

⑤地区大会交通手段・交通費の件　別紙参照　杉山会長

→大会側でシャトルバスを手配するため、クラブ独自で交通手段を確保する必要がない。

案内が出ている三島駅からのバス利用について会員に利用確認する。

⑥10 月外部卓話、謝礼の件　山田和典君

10/2(木)　沼津市文化財センター　主任学芸員　木村聡様　→ 不要とのこと。

10/30(木)　公証人　名倉俊一様　→謝礼金とする。

⑦令和 7 年台風 15 号災害静岡県義援金の件　杉山会長

→ テーブル募金とする。

⑧第 2 グループ合同奉仕作業（食糧支援）

クラブで支出する。

米山奨学生卓話

皆さん！初めまして、こんにちは！

今年の 4 月にロータリー米山記念奨学生になった、日本大学・国際関係学部・国際総合政策学科・国際ビジネスコース、4 年の DAIYUCHAO と申します。本日、貴重な機会を頂き、ありがとうございます。素晴らしい社会人先輩たちの前で卓話する貴重な機会があまりないので、今はとても緊張しています。もし話が進んでいる途中で何を言っているのか意味がわからないところがあったら、遠慮なく質問していただいたら嬉しいです。それでは、本日の卓話を始めたいと思います。よろしくお願いします。最後の参考資料の部分を除いて、本日は卓話を主に二つの部分に分けて皆さんに紹介したいと思います。

では、早速第 1 部分に入りましょう。
皆さんにより直観的に自分の故郷である青島の位置を把握していただくために、Google マップからこの図をスクショしました。この図の左側、赤いマークを付けた場所は青島の所在地になります。日本にも近いですし、韓国にも近いですし、北朝鮮にも近いですし、中国の首都である北京にもとても近いです。飛行機に乗れば、乗り換えがなく丁度 2 時間程度で日本から青島に行けてしまいます。

続いて、青島の写真を何枚か皆さんに紹介したいと思います。様々な理由で青島はよく開発されていています。北京・上海ほどではありませんが、今は中国国内レベルの大都会になっています。こちらの写真をよく見ると、明らかにアジア風ではないヨーロッパ風の建築が多数見られます。すでにこのような質問を持っている方いらっしゃると思いますが、次のスライドで説明させていただきたいと思います。

では、次のスライドに進みたいと思います。
実は、1898 年、当時中国を統治していた清の政府はドイツ帝国と「独清条約」を結びました。ドイツ帝国はこの条約を通じて現在の青島市都心部に当たる地域を 99 年間の契約で租借（そしゃく）しました。その時から、青島は初めて植民地都市として、ドイツ東洋艦隊の母港として開発されました。そのため、今でも青島にドイツ風の建築が沢山残されています。右の写真は当時青島に駐在していたドイツ軍人とドイツ総督府（そうとくふ）の写真になります。下の方は、青島の名物である青島ビールです。この青島ビールは実はこの時期に青島に駐在していたビールが大好きなドイツ人が初めて作ったものです。青島ビールは非常に美味しくて世界 100 以上の国の人々に愛飲され続けています。中国で最も有名なビールブランドになります。日本の中華料理店にも売っているので、もし興味がある方がいたら、ぜひ飲みに行って見てください。

では、次のスライドに入ります。
その後、第一次世界大戦が勃発しました。
こちらの写真は、当時青島でドイツ人と戦っていた日本とイギリスの軍人の写真になります。何年前、日本人の友達から「青島の人は青島を占領していたドイツ人と日本人のことどう思っていますか？」と、聞かれたことがあります。正直に、日本やドイツに不満を持っている人もいますが、近代化の町を作ってくれた日本人やドイツ人に感謝している人もいました。どちらにしても、この歴史から、青島は日本とドイツと、とても関わりの深い都市であることがわかります。
続いて、自分の趣味を軽く紹介したいと思います。

自分は昔の物が大好きなので、東アジア各国の昔の曲、日本のレトロな曲を聴くのが趣味です。日本のだと、竹内まりやさんの曲が大好きです。特に「プラスティック・ラブ」と「人生の扉」の 2 曲は何回聴いても堪らないです。台湾の歌手だとテレサ・テンが好きです。
続いて第二部分に進みたいと思います。
なぜ私はロータリー米山奨学生になったのか。

ロータリーを選んだ理由の中で、私の目を一番惹いた、一番興味を持った、他の奨学金ではなくてもうこの奨学金だ、と思わせた理由があります。それは何かと言いますと、他の単純に金を受給するタイプの奨学金と比べて、「ロータリー米山奨学金」は「世話クラブ・カウンセラー制度」を設けていて、非常に高い頻度で例会を開いて、奨学生と世話クラブのコミュニケーションを重視している大切にしているという特長があるからです。大学で今私が所属しているゼミナールの指導教授も昔異なる地域、富山県のロータリークラブの会員でした。たまに先生からロータリークラブのことを聞きます。各業界の優秀な人たちが集まって食事をして、食事後に卓話をして、様々な人から多種多様な話を聞いて、楽しくて非常に有意義で、絶対にいい経験になると先生に言われました。まるで古代ヨーロッパのサロンのようなものだと私は考えました。世話クラブの例会・活動などに積極的に参加することで様々な考えを持っている優秀な方々と交流できることは大学生の私にとっては、きっと大学の学習生活だけでは得られない貴重なものです。世話クラブの活動に参加することで得られた知識や経験、会員あるいは地域の方々と構築した大切な繋がりは無価なものだと私は考えて、毎月にいただける 10 万円というものよりも価値があるので、これは 1 番の理由です。
そして、2 番目の理由は、毎月に多額な 10 万円をいただけることです。月々にいただける 10 万円の奨学金は 1 番目の理由と比べるとそれほど重要なものではないと先ほど述べましたが、価値のないものであるとは述べていません。奨学金を活用して、資格取得の資金の獲得、さらに大学の学費の調達などの現実問題を解決していただけるので、2 番目の理由にしました。
次のところに入りたいと思います。

ロータリークラブや学友会の活動に参加することで得たもの・感じたこと、のところです。こちらに載せられているのは、私がこれまでにせせらぎ三島ロータリークラブの皆さんと一緒に、様々なイベントや奉仕活動に参加する時の写真です。左上の写真は、先週の柿田川掃除の時の写真です。真ん中上の写真は、農兵節（農兵ぶし）の時の写真です。右上の写真は仲原元会長のさよなら例会の時の写真です。真ん中下の写真は、私のカウンセラーである高橋さんが運営している子供支援食堂でボランティアした時の写真です。右下の写真は 4 月の時に静岡市で行われた奨学生オリエンテーションの時の写真です。一緒に参加したイベントが多すぎて、実は写真はもっとありますが、時間の問題もあるので、このくらいにしています。私の世話クラブの皆さんは本当に皆いい人で、私が体調を崩した時に皆は「体調大丈夫？」と心配してくれましたし、この間夏の 1 番暑い時期にクラブの米山さんから巨大なメロンをいただきました。とてもおいしかったです。ありがとうございます。ご馳走様でした。イベントがある時にも、クラブの人は絶対に同行してくれます。本当に感謝しています。

正直に、奨学生になった当初、ボランティア活動・社会奉仕活動って楽しいかな、自分はやれるかな、と心配していました。しかし、実際にやってみて、子供支援食堂でボランティアをしていたとき、子供たちにお菓子をあげたり、たこ焼きを焼いてあげたりして、子供たちが満足して元気に食べている姿を見ると不安も緊張も全部一気に無くなりました。自分はいいことをしたなと感じて、とても楽しくて充実していました。